



日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

会員総会議事録

日独産業協会 (DJW)
2021 年年次報告

開催日時 2022 年 5 月 9 日 9:30~11:00(ドイツ時間)
開催地 Microsoft Teams を利用したオンライン会議
議事進行 ゲアハルト・ヴィースホイ(理事長)
議事録作成 アンネ・ポムゼル(事務局長)
選挙進行 マリア・ドイツ(イベント・コーディネーション)
出席者 DJW 会員およびゲスト計 62 名(出席者リストは DJW 事務局にて保管)

議事次第

- 議題 1 開会挨拶、定款規定に則った会議招集と議事次第の確認
- 議題 2 [2021 年会員総会議事録](#)の承認
- 議題 3 [2021 年活動報告および財務報告](#)
- 議題 4 会計監査人からの報告
- 議題 5 理事会および事務局の活動の承認
- 議題 6 今後の取り組み
- 議題 7 選挙
- 議題 8 その他

議題 1

開会挨拶、定款規定に則った会議招集および議事次第の確認

デジタル形式で開催された 2022 年会員総会の開会に際し、DJW 理事長ヴィースホイが出席者に歓迎の辞を述べた。すべての会員と理事メンバーによる協会のための積極的な取り組みに感謝を表し、とりわけ現下の困難な時代において協会が果たす役割の重要性を強調した。

続いて DJW 事務局長アンネ・ポムゼルが、DJW 事務局一同を代表して出席者に挨拶し、会員各位に配布された文書について確認を行った。デジタル会員総会の開催準備にあたりこれらの資料は 2022 年 4 月 7 日付けの電子メールにて会員総会の案内とともに送付(2022 年 DJW 会員総会のご案内 / 倫理行動規範に関する提案)、あるいは DJW ウェブサイト上に掲載し、個別に閲覧・ダウンロード可能とした([2021 年会員総会議事録](#) / [2021 年活動報告および財務報告](#))。

更にポムゼルは、デジタル総会における採決ならびに予定されている選挙の投票に際しては、リアルタイムでの匿名かつ秘密投票を可能とするオンライン投票システム「POLYAS」を使用する旨に言及。同システムの利用に関連する、会議の進行手順について解説を加えた。

ヴィースホイは、本総会が定款に規定された方法および期日に則って招集されたことを確認(添付 1「2022 年 DJW 会員総会のご案内」を参照)。議題の変更を求める意見はなく、出席者のデジタル投票により議事次第は承認された(賛成 35 票、棄権 1 票)。

議題 2

2021 年会員総会議事録の承認

電子メールにて送付された前年の会員総会(2021 年 4 月 26 日オンラインにて開催)の議事録は、本総会に出席し投票権を有する会員により全会一致で承認された。

議題 3

2021 年活動報告および財務報告

ポムゼルは、次のテーマとして、事前にオンライン上で公開されている DJW の活動のあらゆる分野を包括的に取りまとめた「[2021 年活動報告および財務報告](#)」(添付資料 2「2021 年活動報告および財務報告」を参照)を採り上げ、そのうち特に①イベント(新たなイベント形式である DJW Socializing と DJW「Spot On!」の始動)、②アジャイルプロジェクト組織(Squads とワーキンググループ)、③コンタクトおよび情報プラットフォーム(新たに設立した Networking Hub とインフォメーションマッピング)の 3 分野における取り組みについて概要を説明した。

2021 年会計年は、8,310 ユーロの黒字という結果となった。ポムゼルによる収支報告の詳細説明に続き、ヴィースホイが、協会の経済状態は良好であり、長期的な財務計画も堅実であると発言。たとえ将来的にマイナス収支となることがあったとしても、これまでの積立金でカバーすることが可能であり、これは DJW の幅広い活動の証であると指摘した。ポムゼルは、DJW 会への寄付や後援、DJW 協賛会員としての入会を通じた協会支援を呼びかけ、財務報告に関する説明を締めくくった。

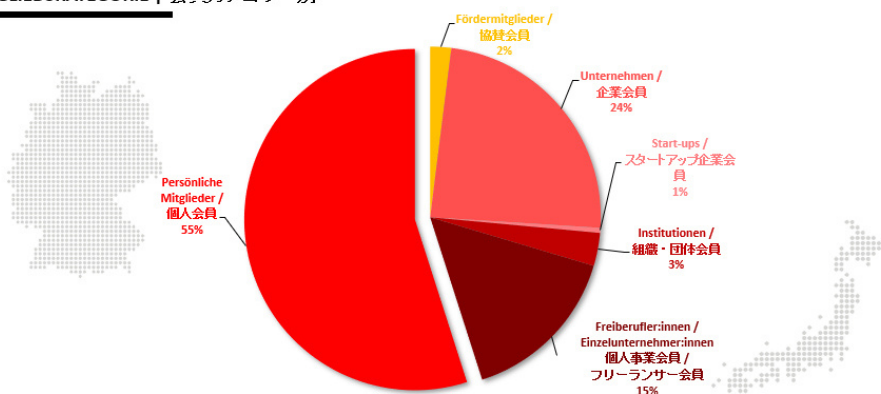
ポムゼルは、2021 年の DJW 会員総会で採択された新たな定款が、2022 年 1 月よりデュッセルドルフの団体登記簿に登録されていることについて言及。

議題 3 の最後にポムゼルは、協会の会員構成状況を説明。ヴィースホイからは会員各位に対し、各々のネットワークにおける DJW 活動の紹介、およびそれによる DJW の知名度の高まりとネットワークの拡大実現に向けての協力要請がなされた。

UNSERE MITGLIEDER 2021 | 2021年会員構成状況



NACH MITGLIEDSKATEGORIE | 会員カテゴリー別



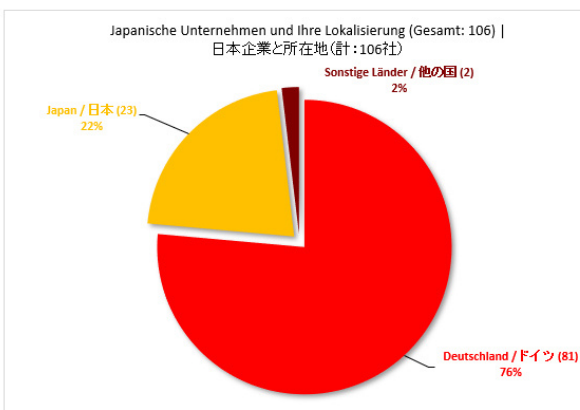
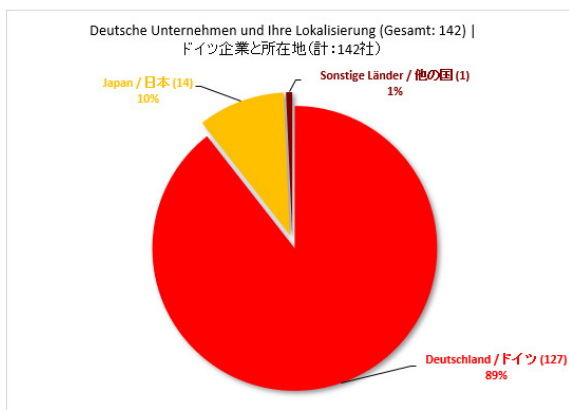
Netzwerk von 1.054 Mitgliedern (Stand: 31.12.2021) | 1,054名から成るネットワーク (2021年12月31日時点)

DJW – Members' Assembly (Online, 09.05.2022)

UNSERE MITGLIEDER 2021 | 2021年会員構成状況



NACH HERKUNFT | 国別



DJW – Members' Assembly (Online, 09.05.2022)

議題 4

会計監査人からの報告

2021年4月26日のDJW会員総会において選任された会計監査人サンドラ・ディーデリクス(PricewaterhouseCoopers)は2022年4月、シュノーブス・ヘルムホルト・ヴァルデマン会計事務所(Schnorbus Helmholt Wardemann PartGmbH, Kanalstraße 2, 41460 Neuss)が作成した2021年を会計年とするDJWの会計報告書を受領。更に、収支報告の添付資料を無作為に抽出し、これを精査した。その結果、本協会のすべての支出が定款の規定を遵守し適切に行われたことを(事前に書面にて)確認した。これに対して異議が呈されることはなかった(添付資料3「2021年を報告年とする会計監査報告」参照)。

以上の結果より、監査人は理事会および事務局の2021年における活動に関し、会員総会に対し条件なしでの承認を提案した。

議題 5

理事会および事務局の活動の承認

会計監査人ディーデリクスはその監査報告書において、理事会および事務局の2021年における活動の承認を発議。会員総会は、全会一致でこれを承認した(棄権2票)。ヴィースホイとポムゼルは理事メンバーと事務局を代表して、会員からの信頼に対し感謝の意を述べた。

議題 6

今後の取り組み

2021年は、計画されていたプロジェクトの多くが実現され、活発な活動が展開された(Networking Hub / イベント参加申込に対する確認の自動化 / インフォメーションマッピング / キャリア・マッピング / 当協会イメージパンフレットの改訂 / 協会の定款改訂 / リモートワーク導入等)。なお、DJWビジネス・アトラスは、2022年に更なる精緻化を進めていく予定。

ポムゼルは続いて [DJW「倫理行動規範」](#)プロジェクトを紹介し、プロジェクト発足の背景について説明を行った。この規範によって、DJWとしては協会、事務局チーム、会員、そして理事会が皆透明性をもって活動し、何らの特権も付与されないことを外部に見える形で示すことが狙いである。当該規範は、DJW会員から構成されるSquadでの議論から生まれ、非営利団体に関する日独両国の最新の行動規範に関する考え方を融合・反映させたものである。ポムゼルは、同規範は定款に代わるものではないこと、今後の展開に応じて修正拡大させていくことが可能である旨を強調した。ヴィースホイは、規範は新規会員のガイドラインとしても利用できるものであり、たとえば会員としての行動、意思決定の判断基準、関係組織やパートナーとの関係構築における協会のあり方といった問題も扱っているとのコメントを付した。

2022年は、引き続きプロセスのデジタル化と自動化を推進していく予定。ポムゼルは、今後予定されているイベントとSquadミーティングを紹介、また今後のアナログとデジタルを組み合わせたイベントについての課題にも言及した。

議題 7

選挙

DJW 理事および監査人候補者の略歴ならびに意思表示については、2022 年会員総会に先立ち、全会員に送付された(添付資料 4「DJW 理事および会計監査人候補者リスト」を参照)。

ヴィースホイは、DJW 理事の職を離れることになる星野芳隆(元・ジェットロ理事)ならびに、森宏之(元・デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長)に対し、名誉職(ボランティア)としての DJW の活動への協力に謝辞を述べた。

新たな DJW 理事には、次の 3 名が立候補した。信谷和重(ジェットロ副理事長) / 立川雅和(デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長) / ヴィースホイ弘貴(メッツラー・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長)

加えて、次の 8 名の理事メンバーが任期満了を迎えた。Prof. Dr. モーリッツ・ベルツ(フランクフルト大学日本法教授) / Dr. ユルゲン・グロスマン(元 RWE 最高経営責任者、ゲオルグスマリーエンヒュッテホールディング有限会社オーナー) / 國部毅(株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長) / ヴィルヘルム・メムケン(エコスコンサルタント有限会社代表取締役) / 中根猛(前・在ドイツ連邦共和国特命全権大使、外務省科学技術協力担当大使、ベルリン日独センター(JDZB)総裁、全国日独協会連合会(VJDG)会長代行) / マンフレッド・シュターン(元 YASKAWA Europe GmbH 代表取締役) / Prof. Dr. フランツ・ヴァルデンベルガー(ドイツ日本研究所(DIJ)所長) / ゲアハルト・ヴィースホイ(B.メッツラー・ゼー ル・ゾーン & Co. AG 代表取締役)

上記 8 名全員が再任に立候補した。

ベルツ(賛成 35 票、棄権 3 票) / グロスマン(賛成 33 票、棄権 4 票) / 國部(賛成 35 票、棄権 3 票) / メムケン(賛成 37 票、棄権 1 票) / 中根(賛成 36 票、棄権 2 票) / シュターン(賛成 37 票、棄権 1 票) / ヴァルデンベルガー(賛成 36 票、棄権 2 票) / ゲアハルト・ヴィースホイ(賛成 38 票)が再任された。続いて、信谷(賛成 36 票、棄権 2 票) / 立川(賛成 36 票、棄権 2 票) / ヴィースホイ弘貴(賛成 27 票、反対 1 票、棄権 10 票)が新理事に選出された。全候補者が投票結果を受け入れ(総会に欠席の場合は、事前に書面にて意向を表明)、2025 年を任期とする理事職に着任した。

会計監査人のポジションには、サンドラ・ファイネン(PricewaterhouseCoopers)が新たに立候補。更なる候補者は不在。ファイネンは、賛成 34 票、棄権 1 票で会計監査人に選出され、選挙結果を受諾した。

議題 8

その他

ヴィースホイとポムゼルは DJW 会員と出席者の益々の健勝を祈念し、2022 年会員総会を閉会した。

2022 年 7 月デュッセルドルフ

ゲアハルト・ヴィースホイ
理事長

アンネ・ポムゼル
事務局長

(署名入りの議事録原本はDJWデュッセルドルフ事務局にて保管)

添付書類(一部はオンラインよりダウンロード可能)

- 1) [2022年DJW会員総会のご案内](#)
- 2) [2021年活動報告および財務報告](#)
- 3) 2021年を報告年とする会計監査報告
- 4) DJW 理事および会計監査人候補者リスト

日独産業協会 (DJW) 会員各位

2022年日独産業協会 (DJW) 会員総会のご案内

我々を取り巻く環境の変動が続きますが、皆様益々ご活躍のことと存じます。さて、例年同様、当協会の年次会員総会を以下の通り開催させて頂きたく存じますので、是非ともご参加頂きたくお願い申し上げます。

開催日時: 2022年5月9日 (月)
9:30~11:00 (ドイツ時間) / 16:30~18:00 (日本時間)

開催方法: オンライン開催 (Microsoft Teams 使用)

テーマ: 以下項目を個別テーマとして予定。

- 項目 1 歓迎の挨拶、正式な会議招集の確認 およびアジェンダ紹介
- 項目 2 2021年度分の会員総会議事録の承認 (オンラインで閲覧可)
- 項目 3 2021年活動報告および財務報告 (オンラインで閲覧可)
- 項目 4 会計・出納監査人からの報告書
- 項目 5 理事会および事務局の活動状況に係る承認
- 項目 6 今後の取組みおよび計画
- 項目 7 理事会会員選挙
- 項目 8 その他

使用言語: 当協会準拠法による規定からドイツ語での開催となります。

BANKVERBINDUNGEN

Deutsche Bank AG, Düsseldorf
IBAN: DE62 30070024 0200453900
BIC / SWIFT: DEUTDE33HAN
Mizuho Bank (Bank Code 0001)
Tokyo Chuo Branch (Branch Code 110)
Kontonummer: 2550613 (futsū-Konto)
BIC/SWIFT: MHCBJPJT

VEREINSREGISTER / STEUERANGABEN

Vereinsregister Düsseldorf
Vereinsregisternummer: VR 9027
Finanzamt Düsseldorf-Süd
Steuernummer: 106/5742/2316

オンラインベースでの総会実施により、以下の手順となりますので、ご注意ください。

- 会員総会への参加登録は、ウェブサイト(www.djw.de)から行ってください。申し込みの締め切りは**2022年5月6日(金)**です。
- 登録完了後、登録の際に申請頂いたメールアドレス宛に**参加登録完了メール**が届きます。デジタルイベントスペースへ入場するためのリンクは、2022年5月8日(日)に送付されます。このリンクは厳重に管理され、第三者への転送は禁止されています。会員総会参加にご興味をお持ちの方には、ウェブサイトまたはDJW事務局をご紹介ください。
- 総会はMicrosoft Teamsにて行われます。会議に参加するためには、インターネットに接続できる端末(スマートフォン、ノートパソコン、タブレット)が必要です。
- 参加者は全員、**本名(姓名)**での登録をお願い致します。
- **議決権行使**は、総会の開催中に**ライブ**で行われ、インターネット上の議決権行使システム「POLYAS」を使用して行われます。
- 議決権行使については、当日総会直前に**個別の議決権行使IDとパスワード**をお送りします。これを使って「POLYAS」にログインし、投票開始の合図とともに投票することができます。ご投票頂いた内容は、データ保護を遵守した上で、厳秘扱にて送信されます。
- 結果は、選挙管理者による確認後、ライブで表示されます。

上記の流れにて実施予定ですので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

出席される各会員の皆様は、投票項目毎に1票の投票権を保有します。法人・組織会員の皆様は、各々の企業・組織の中で出席のうえ議決権を行使される方を事前に決めて頂く必要があります。決議は、出席した会員の有効投票の過半数で可決されます。

2021年の「活動・財務報告書」と「2021年度会員総会議事録」は、ウェブサイトにオンラインで掲載しておりますので、ご確認ください。また、事務局にて作成致しました当協会の倫理行動規範(案)につき、会員総会の場でご意見を頂ければと存じます。

お手数ではございますが、当協会**ウェブサイト**からのご出席お申込みをお待ちしております。会議の内容や手続きについてご不明な点がございましたら、ご遠慮なくご照会ください(director@djw.de | +49 211 99459191)。

何卒宜しくお願い申し上げます。

2022年4月

デュッセルドルフにて

日独産業協会(DJW)理事長
ゲアハルト・ヴィースホイ

事務局長
アンネ・ポムゼル



日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

2021 年活動報告書¹

NETWORKING | INFORMATION | BUSINESS

日独産業協会(DJW)の目的は、日独間の交流の促進にあります。1986年以来、当協会は日独両国の企業の情報交換、共通の興味・関心事であるテーマや疑問に関する議論の場を作り、会員間の交流のサポートを行っております。当協会には企業に加え、ビジネスや経済に関わる各種経済産業振興機構、政治や学術、メディア関連の団体、また、日独関連事項に興味・関心を寄せる様々な世代の個人や次世代を担う若い企業関係者などの皆様からご入会頂いております。

現在当協会ネットワークにご参加の1,054名の会員の皆様から積極的に問題提起を頂き、その結果、当協会の未来を形作るうえで多大なるご協力を頂いております。近年は、当協会の活動や行方を強化し確固たるものにすべく、会員の皆様に積極的に関与して頂けるような企画を行っております。特にSquadsやワーキンググループでは、日独に跨る分野で多様なテーマに取り組むためのイニシアチブやアイデアを自らの責任をもって実現するための基盤を提供しています。

当協会は政治面・財政面で完全に独立した非営利登録団体として活動を行っております。これにより会員の皆様やパートナー関係にある他団体の皆様とともに、最新的话题日独共通の興味・関心事に関わる議論の進展について柔軟かつ迅速に対応し、当協会の活動の枠内で取り上げることができます。

2021年は日独交流160周年の記念すべき年であり、また、当協会設立35周年を迎えた年でもありました。この活動報告書では、特別な1年であった2021年に当協会が行ったプロジェクトについてご報告申し上げます。



¹ドイツ語からの翻訳。

活動分野

デジタル空間でのイベントの開催

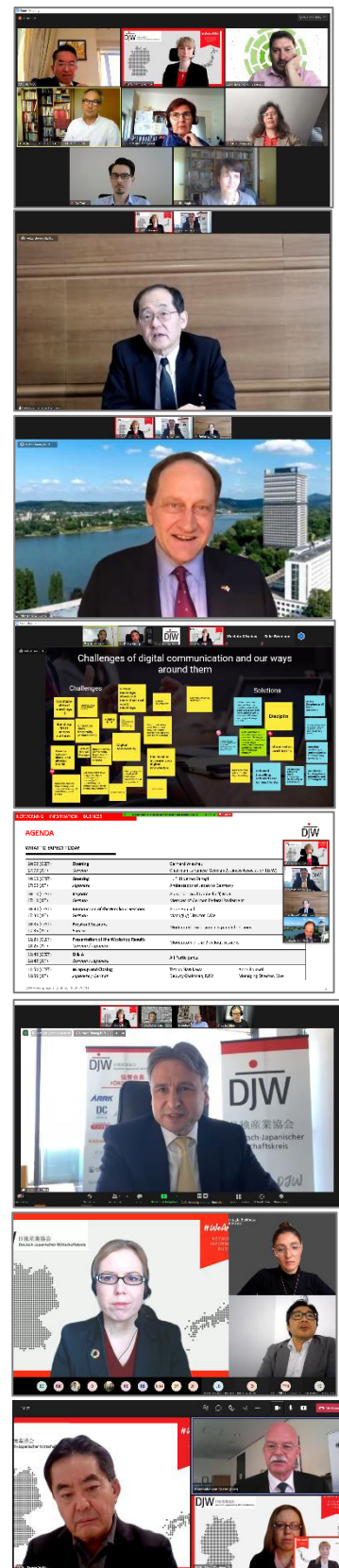
当協会の最も重要な目的は、日独両国間の経済関係の強化と、開かれた協力関係を促進し相互理解を深めることにあります。信頼に足る情報の交換、継続的な交流、そして長期的に持続可能な関係構築は、互いに学び合い、積極的かつ信頼のもとに成り立つ対話を行うための重要な基盤となります。当協会が開催するイベントは、この協会の理念を実現し、さらに活気のあるものとするためのプラットフォームとして確立されたものであると言えます。当協会主催のイベントには会員の皆様はもちろんのこと、日独の経済交流に関心のある方々にもご参加頂けます。

多くの機関や組織同様に、2021年には当協会ならびにその活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けました。特に対面式によるイベント開催が制限され、それによりリアルな場で直接的交流を深めつつネットワークを促進し、さらに新しい人々と出会う機会が非常に制限されてしまった、ということを実感した一年でした。イベント会場脇でコーヒーを片手に行われるふとした会話の中から生まれるような「双方向のアイデア」が生まれる場が欠けていたということです。しかし、そういった中でも、当協会活動を広く伝え、また活動参加への敷居を低くし、さらに活動に関わる皆様にとって付加価値のある企画・提案を行うための方法を当協会でも検討して来ました。その結果、我々のアイデアをさらにデジタル空間でも実行に移し続けることができました。

前年40近いデジタル形式によるイベントを開催しましたが、その後2021年にはイベント数を50回近くまで増やし、オンラインイベント会場にはデジタルコラボレーションツールである「Microsoft Teams」やプラットフォーム「Zoom」、「wonder.me」を積極的に取り入れました。内容面では、日本とドイツにおける投資とスタートアップを取り巻く環境、デジタル化と高齢化社会の相互作用、日本のポップカルチャー、知的財産の保護、水素テクノロジーといった様々なテーマを取り上げました。

当協会主催の50回近くに及ぶイベントには、合計1100名を超える方々にご参加いただきました(ドイツ人参加者:69%、日本人参加者:31%、DJW会員:73%、非会員:27%)。

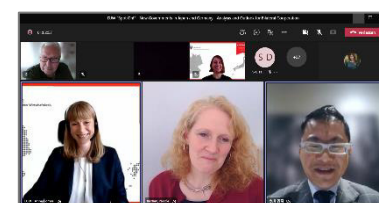
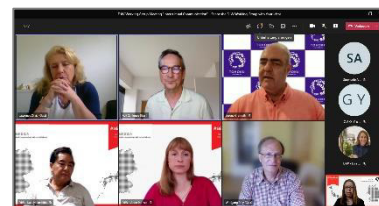
- 当該年度には、DJW「Spot On!」と「Socializing」という二つの新しいイベントフォーマットを開始しました。この二つのイベントでは、対話と意見形成、更なる問題提起を行い考えを深めることに重点を置いています。「Spot On!」シリーズ開始には、同年日本とドイツで行われた選挙と、グローバルな観点からの日中関係について取り上げ議論を深めました。両イベントを始めとするその他当協会主催イベントのビデオクリップについては、当協会ウェブサイト上のデジタル回顧録にてご覧頂けます。
- さらに、2021年は両国大使館企画の「日独交流160周年記念イベント」の枠内で2つのDJWシンポジウムを(第一弾、第二弾)デジタル開催にて実施することができました。



日独両国に跨る観点から見た特にダイナミックな6つのテーマ(これからの労働・生活環境、デジタル活用によるリーダーシップ、日独両国経済における中小企業の役割、スマートインフラ、人工知能、責任ある企業統治)に焦点を当て、各々ブレイクアウトセッションにて司会者を設置し、参加者の皆様と議論を行いました。

- **ワーキンググループ**や **Squads** の活動やエネルギーが、DJW の活動に安定的かつ持続的に組み込まれたことも、本年の非常に素晴らしい成果です。このような主体的・自律的な協力関係こそが、当協会の特徴であり、プラットフォームやネットワークとしての価値なのです。
- また、二つのイベントを対面式で開催することができました。**デュッセルドルフで開催の「ドコミ 2021」**と**ライブツィヒで開催の「Japantag」**の枠内でDJW「昼の会」を企画・実施し、多くの方にご参加いただきました。
- さらに2021年も引き続きウェブサイト、各ソーシャルメディアチャンネル、ニュースレターほか、当協会側が講演、司会、スピーチを行ったり、直接コンタクトを仲介することで**会員の皆様**や**パートナーの皆様**が**主催するイベント**を支援しました。
- また、各地域を代表する、或いは**国境を越えて活動する**各経済産業団体・経済振興組織、商工会議所、学術団体や独日協会、日独協会等、様々な団体・組織と協力し、当協会の活動範囲を拡大することができました。

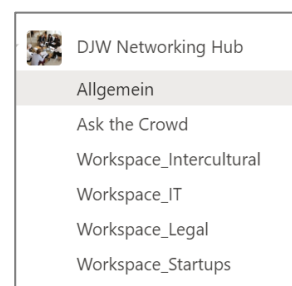
全てのイベントの詳細につきましては、本報告書の付録でご紹介しております。



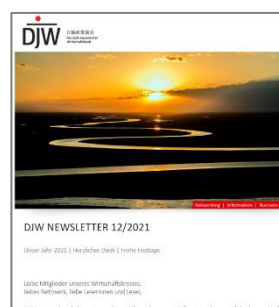
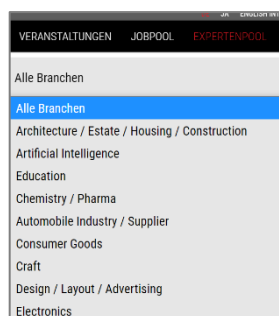
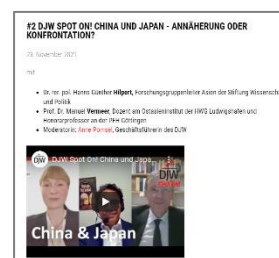
コンタクト & インフォメーションプラットフォーム

さらに、会員の皆様には以下のようなサービスを提供してきました。

- 当協会内で長期間にわたり計画されていたプロジェクトであった**Networking Hub**は、2021年夏にオンライン化されました。このプラットフォームでは、皆様をデジタルレベルつなぐことができるようになりました。このプラットフォームにご登録いただいている会員の方々に所在地(「Dusseldorf」、「Munich」、「Tokyo」など)や専門領域(「Career」、「Legal」、「Market Entry」など)をキーワードにした「タグ」と呼ばれるマーカーをつけ、各々直接コンタクトをとることができるように設定しました。また、このNetworking Hubでは、情報共有や特定のテーマに関する議論、ミーティングの開催などが可能です。
- また2021年には、当協会にこれまで集められた膨大な情報を構造化し、ウェブサイト上で体系的に公開する「**インフォメーションマッピング**」が誕生し、すでに3つのテーマに関するマッピングがオンラインにて公開されております。これは、**経済、学術、政治など各分野で活躍する団体**や、**日独両国でのキャリアパスに関する基本情報**を示す道標であり、その**所在地**や**トピック**毎に掲載しています。



- パスワードで保護された**会員専用ページ**では、全ての会員の連絡先概要を見ることができ、また会員の皆様自身で個別に情報編集を行うことができるほか、様々な基準でフィルタリングやソーティングを行うことも可能です。
- 当協会の日独**エキスパートプール**では、日独ビジネスの領域における事業者や企業、メーカーの「Who is Who」が見られるようになっています。この一覧はインターネットで公開されています。
- 日独**インフォメーションプール**では、経済・ビジネス関連の情報やお知らせ、様々な分野からの専門的な記事をご案内しています。
- さらに、企業会員はデジタルの**ジョブプール**を通して、自社の求人に適した候補者を見つけることができます。当年は、ウェブサイト掲載用の新規求人案件として164件が当協会企業会員の皆様から寄せられました。これは前年と比較すると、本プラットフォームの利用が顕著に増えたことを示しています。
- **毎月配信のデジタルニュースレター**では、当協会からのお知らせをお届けするほか、**理事長ゲアハルト・ヴィースホイ**によるコラムでは日独の最新状況をテーマに批判的に取り上げ評価を行っています。これらはいずれも**ホームページにてアーカイブ**として過去の分も含めて公開しております。
- 2021年より、ウェブサイト上から実施可能な当協会主催イベントへの申込受付を自動化し、お申込み手続き実施後に登録完了メールが自動にて送信できるようになりました。



日本でのネットワーク拡大

日独産業協会は、経済同友会との活動機会を増やし、今後日独両国間に係る各種対話イベントの開催を目指します。経済同友会は、当協会と同様、政治的に独立した非営利団体であり、1946年の設立後、現在日本国内に約1,400名の会員を有し、日本を代表する三大経済団体の1つとなっています。そのような位置付けにある経済同友会と協働出来る機会があるということは、当協会の認知度を高めるうえで非常に有難いことですし、また、日本の重要なパートナーとの関係を深耕出来るという点で格別に意義深いものです。同会と当協会の最初の**共同声明**においては、日独両国が直面する課題について述べると共に様々な分野におけるより進んだ協力関係のチャンスについても言及しております。

ソーシャルメディア

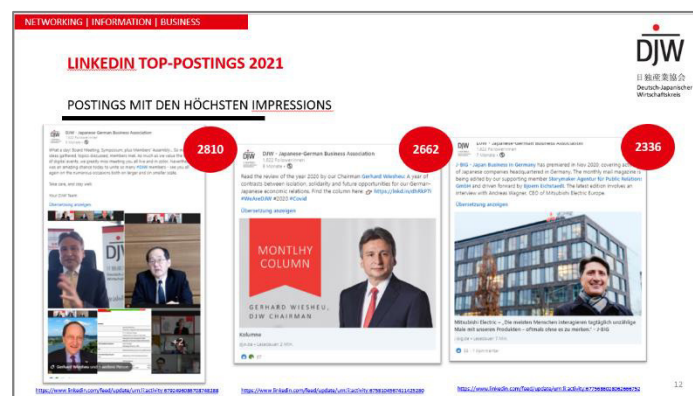
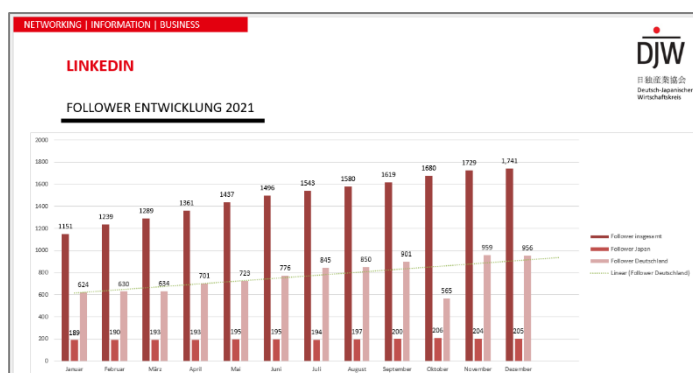
デジタル空間での認知度を高めるには、当然ながらソーシャルメディアを外すことはできません。**Facebook**、**LinkedIn**、**YouTube**とすでに大きなソーシャルメディアチャンネルの活用を行ってきましたが、2021年にはさらにチャンネルを一つ増やし、**Twitter**のアカウント設置と運用を始めました。Twitterでは、主に日本語での情報発信を行います。会員の皆様の投稿や活動を共有したり、「いいね！」やコメントを積極的に行なっております。**#WeAreDJW**

#WeAreDJW

DJWのソーシャルメディアチャンネルは、2021年に該当するターゲット層で成長を続けています。特にLinkedInは、私たちのコンテンツに適したチャンネルとして確立されており、活発な交流や個々の投稿の高い共有率に反映されています。DJWチャンネルはフォロワー数の増加に成功し続け、2021年末には1,741人のフォロワーを獲得しました。この傾向は2022年も続きそうです。(フォロワー数1,878人、2022年3月)。掲載された記事は、特にネット上の類似のオファーと直接比較して、リーチが良好です。

2021年には、主に日本のターゲット層に向けたTwitterアカウント(@WeAreDJW)を11月に開設しました。Twitterは日本で最も人気のあるソーシャルメディアチャンネルで、初回投稿から数カ月ですでに100人以上のフォロワーを獲得しています。

その結果、ソーシャルメディア経由のウェブサイトへのアクセスも、特にイベントやインフォメーションプールのセクションで増加しました。



組織

理事メンバー

- Prof. Dr. モーリッツ・ベルツ フランクフルト大学、フランクフルト
- ニコル・バステアン、Handelsblatt 外国部部長、デュッセルドルフ
- Dr. ユルゲン・グロスマン Georgsmarienhütte GmbH オーナー、ハンブルク
- 星野 芳隆 前・日本貿易振興機構(ジェトロ)東京 理事、東京
- 古森 重隆 富士フィルムホールディングス株式会社最高顧問、全国日独協会連合会(VJDG)会長、東京
- 國部 毅 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長、東京
- Dr. シュテファン・マイアー ドイツ国際政治安全保障研究所所長、科学政策財団(SWP)事務局長、ベルリン
- ヴィルヘルム・メームケン ECOS Consult GmbH 代表取締役、オスナブリュック
- 森 宏之 デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長、デュッセルドルフ
- 中根 猛 前・在ドイツ連邦共和国特命全権大使、外務省科学技術協力担当大使、ベルリン日独センター(JDZB)総裁、全国日独協会連合会(VJDG)会長代行、東京
- 成川 哲夫 DJW 副理事長、三菱地所株式会社、岡三証券株式会社社外取締役、東京
- ヴィルフリード・シュミット 元大和コーポレートアドバイザー顧問、ベルリン
- Dr. 神余 隆博 関西学院大学副学長、元大使、兵庫
- Dr. フォルカー・シュタンツェル 元大使、独日協会連合会(VDJG)会長、ベルリン
- マンフレッド・シュテルン 前・YASKAWA Europe GmbH 社長兼最高経営責任者、エシュボルン
- 筒井 義信 日本生命保険相互会社代表取締役会長、東京
- 植田 大 日本貿易振興機構(ジェトロ)デュッセルドルフ事務所所長、デュッセルドルフ
- Dr. ルプレヒト・フォンドラン DJW 名誉理事長、独日協会連合会(VDJG)名誉会長、デュッセルドルフ
- Prof. Dr. フランツ・ヴァルデンベルガー ドイツ日本研究所(DIJ)所長、東京
- ゲアハルト・ヴィースホイ DJW 理事長、B. メッツラー・ゼール・ゾーン& Co. ホールディング AG パートナー、フランクフルト・アム・マイン

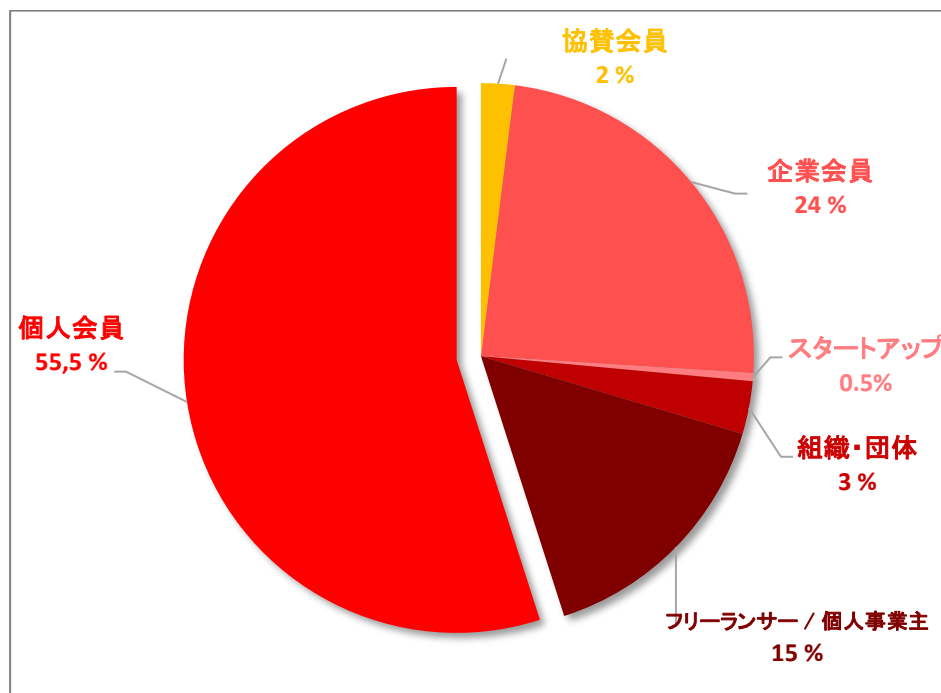
事務局

当報告年度には、常任理事事務局長(フルタイム)、会員とのコミュニケーションと管理担当2名(共にパートタイム)、イベント・コーディネーション担当1名(パートタイム)、また、東京駐在事務所に常勤の駐日代表(フルタイム)を設置しております。さらに、ソーシャルメディアでは1名のアルバイトのサポートを受けております。

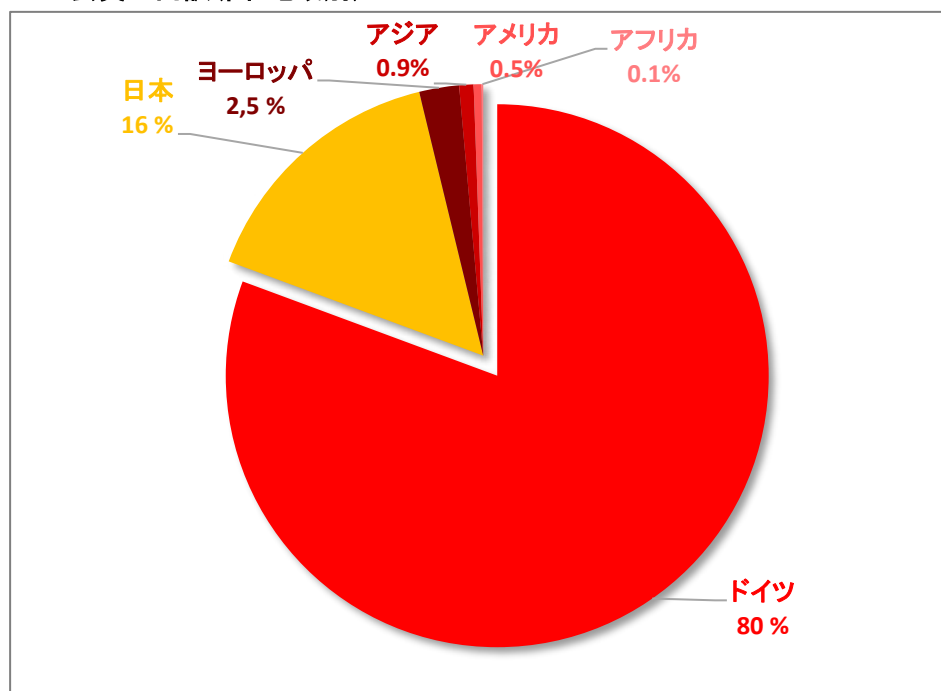
会員構成と発展

当協会には、日独両国からの企業や各種経済振興機構のようなビジネス関連の支援機関や、政治・科学・メディア分野に属する日独経済に関心のある個人、フリーランサー、個人事業主や次世代を担う若い企業関係者、スタートアップ企業等の方々にご参加いただいています。

DJW 会員の内訳(会員カテゴリー別)



DJW 会員の内訳(国・地域別)



2021年には、合計**56名の正規会員**(企業会員18名、スタートアップ企業4名、組織・団体会員3名、個人事業主・フリーランサー8名、個人23名)の加入を頂きました。

さらに、SBI Holding(ベルリン)とPanasonic Industrie(オットーブルン)の2社が、当協会協賛会員にご加入くださいました。これにより当報告年におきましては、ドイツより2社が新たに協賛会員登録を頂き計21社より特別なご支援をいただくこととなりました。

2021年 協賛会員概観

その結果、2020年末時点で**会員総数1,054名**となりました(前年:1,100名)。これは、企業、組織・団体、個人事業主そして個人の皆様から成る包括的なネットワークにより、我々が引続き、独立した日独のビジネスプラットフォームとして最大規模を誇ることを意味します。趨勢的に、在ドイツ会員が約80%で会員数のうち最大のシェアを占めますが、在日本会員の割合は増加傾向にあり、16%となっています(その他の国の合計は約4%)。

その一方で**98名からの退会申請**があり、これは2022年1月1日より効力を有することとなっています。(前年:99名退会)。

財務情報

当協会が提供するコンテンツは、当協会が対外的に活動し認知度を向上させるための基礎であり、また、数値の把握も重要なものです。2021年はさらに督促状や請求書の発行回数を増やし、データベースの更新を行ったため、前年と比較して大幅に未回収額を削減することができました。各プロセスのデジタル化は経理部門にも及び、ほぼペーパーレスで無駄のないエコロジーな手続きを実現しています。

下記掲載の簡略化された収支概要の通り、当年度の収支は**プラス業績**を達成することができました。

2021年収支報告簡易版²

NETWORKING INFORMATION BUSINESS			DJW 日独産業協会 Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis		
FINANCIAL SITUATION (2021)					
VEREINFACHTE EINNAHMEN- UND AUSGABENÜBERSICHT 2021 / 2021年収支報告(簡易版)					
Einnahmen (EUR) / 収入 (EUR)		2021	2020	Ausgaben (EUR) / 支出 (EUR)	
Mitgliedsbeiträge / 年会費		307.681	332.700	Personal- und Bürokosten / 人件費・事務費 260.840 266.850 (z. B. Gehälter, Büroinfrastruktur / 給与、事務消耗品費など)	
- Reguläre Mitglieder / 正会員		188.783	200.000	Veranstaltungen / イベント 17.881 14.150 (z. B. Catering, Raummiete, Reisekosten / ケータリング、会場使用料、出張経費など)	
- Förderer / 協賛会員		107.000	92.700	Abschreibungen / 減価償却 5.274 34.500 (Sachanlagen, GWG, Forderungsverluste / 損耗のための控除、少額固定資産、売却金損失)	
- offene Beitragsforderungen / 未納会費分		10.000	33.500	Sonstige / その他 38.999 36.100 (z. B. Bank, Buchführung, Versicherung, Beratung, Repräsentations- und Öffentlichkeitsarbeit / 銀行手数料、会計事務、保険、コンサルティング料、外交・広報活動費)	
- Währungsausgleich / 通貨調整		1.898	6.500	Summe / 合計 322.994 351.600	
Spenden / 寄付		0.00	40.000		
Veranstaltungen / イベント (Sponsoring, Teilnahmebeiträge, Schulungen / スポンサー費、参加費、研修費)		11.346	3.500		
Sonstige / その他 (Kooperationen / 協力費)		12.277	11.200		
Summe / 合計		331.304	387.400		
Vereinsergebnis (Positivbetrag) / 単年収支(黒字)			+ 8.310		

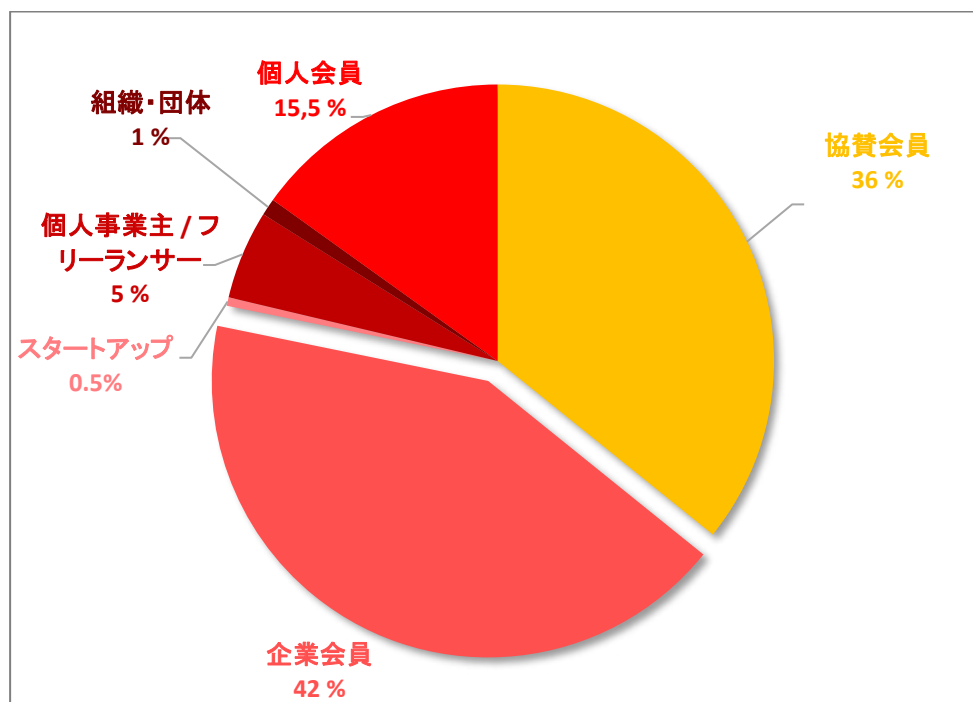
Hinweis: Zahlen wurden qualitativ zusammengefasst und gerundet.
注: 本報告では収支の大項目のみ掲載し、また端数は切り捨てて表示しています。

DJW – Members' Assembly (Online, 09.05.2022)

固定費は、基本的に会員各位からの**会費収入**にてカバーされている状況です。従いまして、安定した会員数の確保とネットワークの拡充が、品質の高い活動を高い頻度にて継続するための基本条件となります。そして、更にはDJW協賛会員になって頂ける会員、および会員候補の方々とのコンタクトを増やしていくことが重要な目標となります。当年度の新規入会者数は例年の数値を下回りました。その理由としては大きく2つあり、コロナ禍による経済的不安定の拡がり1つの大きな要因であることは勿論ですが、対面形式で開催されるイベントへの参加機会が激減し、そこで行われるべき個々の対話機会が大きく制限されてしまったことも挙げられます。但し、退会された会員数が従来と大きく変わることがなかった、という点では、激動の時代においても会員の皆様が引き続き当協会に対して信頼を置いて頂き、当協会のサービスを評価頂いている証である、と存じます。

² ここに掲載されている値は、簡易的に概略値にて記載。例年通り、詳細な損益計算書と、資産・負債の明細を記載した貸借対照表を税理士事務所に依頼して作成。

DJW会費収入の内訳(会員カテゴリー別)



冒頭で述べたように、今般のパンデミックは当協会がすでに以前より着手していたデジタル形式によるイベント開催戦略が正しい判断であったことを明確に示しています。当年度は、当協会にとって最適な方法を見つけるために、デジタルプラットフォームを拡大し、様々なイベント形式を試すことができました(→デジタル空間でのイベント開催)。パンデミック終息後は、対面でのイベント開催を再開できると考えており、また、デジタル・対面両形式のコンセプトを組み合わせたハイブリッドイベントの実施をも検討しております。会員、パートナー、スポンサーの皆様との更なる連携は、催しのテーマと活動内容の包括的なメニューを実現する上で、引き続き重要な役割を果たしています。これまでのコラボレーションに加えて、新たな接点を構築することで、新たなターゲット層を開拓し、特に日本での当協会認知度をさらに高めることが出来ると考えております。

2021年の会員総会では、**定款や会費規約の改正案**も議決されました。両文書は改正案通り採択され、2021年12月より協会登記簿にも登録されています。

終わりに

DJW会員の皆様、当協会を会員の皆様と共に発展させ、二国間交流へのアイデアを推進し、日独友好関係を活気づけることができるのは、私にとっても大きな喜びです。上述の通り、既に私たちの前にはこれから歩いていくべき良い道が築かれております。今後この道を勇気をもって進んでいきたいと思ひます。また、満ち溢れるアイデア実現に向け、デジタル化とシステムの自動化に今後も取り組んでいきたいと思ひます。

2022年も、私たち全員にとって様々なチャレンジを伴いながらも多くの手段と力をもって両国の架け橋を作り続けることができるエキサイティングな年になると確信しております。

DJW事務局チームを代表して

事務局長

アンネ・ポムゼル

デュッセルドルフ 2022 年 4 月

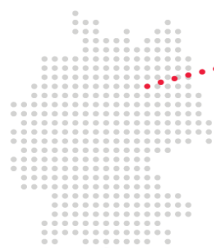
(署名済み原本はDJW事務局にて保管。)

資料) 開催イベント一覧

- 14.01.2021 Online, “Japamburg” Networking Meeting** (with a stimulus talk by DJW)
- 03.02.2021 Online, DJW “Members for Members”** on the topic of “Innovative Offices for the New Normal”, hosted by Drees & Sommer;
- 16.-18.02.2021 Online, 11th German-Japanese Environment and Energy Dialogue Forum** (DJW moderated one session)
- 18.02.2021 Online, Interview** with DJW Managing Director Anne Pomsel (hosted by DJG Bayern)
- 30.03.2021 Online, DJW “Members for Members”** on the topic of “Creating safe, secure and GDPR-compliant company websites”, hosted by Enobyte GmbH
- 12.04.2021 Online, CEO Dialogue** of DJW and Keizai Doyukai
- 15.04.2021 Online, meeting of DJW Working Group “German Japanese – Professional Women’s Network”**
- 26.04.2021 Online, DJW Symposium**
- 26.04.2021 Online, DJW Members’ Assembly**
- 12.05.2021 Online, DJW “Asa no Kai”** on the topic of “Impact Investing – The Role of Venture Capital in Achieving the SDGs”
- 17.05.2021 Online, TUM “Global Minds”** (with a presentation by DJW)
- 21.05.2021 Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”**
- 24.05.2021 Tokyo, Seminar** for Ota-ku Industry Promotion Organization
- 01.06.2021 Online, DJW Round Table** on the topic of “Digitalization and Ageing Well – German and Japanese Approaches
- 02.06.2021 Online, DJW Squad Meeting “Networking Hub”**
- 18.06.2021 Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”**
- 23.+24.06.2021 Online, Interkulturelle Japan-Schulung** (for a DJW member company)
- 29.06.2021 Online, DJW Squad Meeting “Code of Conduct”**
- 30.06.2021 Online, meeting of DJW Working Group “German Japanese – Professional Women’s Network”**
- 16.07.2021 Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”**
- 29.07.2021 Online, DJW Socializing**
- 07.08.2021 Düsseldorf, DJW “Hiru no Kai”** on the topic of “The economic Impact of Japanese Pop Culture” (in cooperation with DoKomi)

- 26.08.2021** Online, meeting of DJW Working Group “German Japanese – Professional Women’s Network”
- 26.08.2021** Online, DJW Socializing
- 01.09.2021** Online, Interkulturelle Japan-Schulung (for a DJW member company)
- 07.09.2021** Online, DJW “Members for Members” on the topic of “Staying Healthy While Working From Home” (hosted by Barmer)
- 15.09.2021** Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”
- 16.09.2021** Online, DJW “Asa no Kai” on the topic of “Intellectual Property Protection for SMEs”
- 16.09.2021** Hannover, DJW “Executive Lounge”
- 30.09.2021** Online, DJW Socializing
- 06.10.2021** Online, DJW Symposium
- 12.10.2021** Duisburg, Interkulturelle Japan-Schulung (for a DJW member company)
- 13.10.2021** Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”
- 15.10.2021** Leipzig, DJW “Hiru no Kai” on the topic of “Testing and Measurement to Support Our Transition to a Hydrogen Society”
- 27.10.2021** Online, meeting of DJW Working Group “German Japanese – Professional Women’s Network”
- 28.10.2021** Online, DJW Socializing
- 09.11.2021** Online, DJW Dialogue “Spot On!” on the topic of “New Governments in Japan and Germany”
- 09.11.2021** Frankfurt, “78. Deutsch-Japanische Wirtschaftsgespräche” (hosted by DJG Frankfurt, supported by DJW)
- 10.11.2021** Duisburg, Interkulturelle Japan-Schulung (for a DJW member company)
- 17.11.2021** Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management”
- 19.11.2021** München & online, „Chancen für bayerische Unternehmen in Japan“ (moderated by DJW Managing Director Anne Pomsel)
- 20.11.2021** Online, “Karriere mit Japanbezug – Möglichkeiten in Deutschland“ (hosted by DJW Squad Career Services, DJG Bonn and DJG-SUB)
- 23.11.2021** Online, DJW Dialogue „Spot On!“ on the topic of “China und Japan – Annäherung oder Konfrontation?”
- 25.11.2021** Online, DJW Socializing
- 26.11.2021** Online, “Kai Kô – Deutsch-Japanischer Wirtschaftsdialog“ (supported by DJW, with a workshop by DJW Speciao Advisor Kan Sumita)

- 27.11.2021 Online, “Karriere mit Japanbezug – Möglichkeiten in Japan“** (hosted by DJW Squad Career Services, DJG Bonn and DJG-SUB)
- 27.11.2021 Online, Annual General Meeting of DJW Working Group “DAAD – Sprache und Praxis in Japan“**
- 01.12.2021 Online, CEO Dialogue of DJW and Keizai Doyukai**
- 02.12.2021 Online, “Born Global Startup Festival“** (hosted by Jena University, with presentations by several DJW members and co-moderated by DJW team member Maria Deutsch)
- 08.12.2021 Online, DJW Socializing Special Edition - Sake Tasting**
- 15.12.2021 Online, meeting of DJW Working Group “Intercultural Management“**
- 15.12.2021 Online, meeting of DJW Working Group “German Japanese – Professional Women’s Network“**



Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis e. V.

日独産業協会



デュッセルドルフ事務所

Graf-Adolf-Strasse 49
40210 Duesseldorf
Tel.: +49 (0)211 - 99 45 91 91

東京駐在事務所

東京都千代田区麹町 2-10-3
エキスパートオフィス麹町 415 号室
Tel.: +81 (0)90 - 67 47 74 90

Fax: +49 (0)211 - 99 45 92 12

ウェブサイト: www.djw.de

メールアドレス: info@djw.de



BERICHT DER KASSENPRÜFERIN | 監査報告

KASSENPRÜFUNG IM APRIL 2022 | 2022年4月実施監査

Ergebnisprotokoll der ehrenamtlichen Rechnungsprüfung für das Geschäftsjahr 2021

Die von der DJW-Mitgliederversammlung am 26. April 2021 zur Rechnungsprüferin gewählte Frau Sandra Diederichs hat im April 2022 Einblick in den von der Kanzlei Schnorbus Helmhold Wardemann (Schnorbus Helmhold Wardemann PartGmbH, Kanalstraße 2, 41460 Neuss) erstellten DJW-Jahresabschluss für das Geschäftsjahr 2021 erhalten. Darüber hinaus hat sie stichprobenartig Einsicht in die dazugehörigen Belege genommen.

Als Ergebnis hat Frau Diederichs bestätigt, dass alle vom Verein getätigten Ausgaben den Bestimmungen der Satzung entsprachen und zweckmäßig getätigt wurden. Es haben sich keine Beanstandungen ergeben.

Sie empfiehlt daher der Mitgliederversammlung die uneingeschränkte Entlastung des Vorstands und der Geschäftsführung für das Berichtsjahr 2021.

Tokyo, den 28. April 2022,

Sandra Diederichs



日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

KANDIDATUREN 候補者リスト

MITGLIEDERVERSAMMLUNG 2022

2022 年日独産業協会 (DJW) 会員総会

Wir freuen uns über die Bereitschaft der folgenden Persönlichkeiten, zukünftig im Vorstand unseres DJW mitzuwirken.

Zur **Wiederwahl** stellen sich auf:

- Prof. Dr. Moritz **Bälz**, Universität Frankfurt, Professor für Japanisches Recht und seine kulturellen Grundlagen; Frankfurt am Main
- Dr. Jürgen **Großmann**, Georgsmarienhütte GmbH, Gesellschafter; Hamburg
- Takeshi **Kunibe**, Sumitomo Mitsui Financial Group, Inc., Chairman of the Board; Tokyo
- Wilhelm **Meemken**, ECOS Consult GmbH, Geschäftsführer; Osnabrück
- Takeshi **Nakane**, Botschafter a. D.; Außenministerium von Japan, Botschafter für Science and Technology Cooperation; Japanisch-Deutsche Zentrum Berlin (JDZB), Präsident; Verband Japanisch-Deutscher Gesellschaften (VJDG), Vizepräsident; Tokyo
- Manfred **Stern**, ehem. YASKAWA Europe GmbH, Managing Director; Eschborn
- Prof. Dr. Franz **Waldenberger**, Deutsches Institut für Japanstudien (DIJ), Direktor; Tokyo
- Gerhard **Wiesheu**, DJW, Vorstandsvorsitzender; B. Metzler seel. Sohn & Co. AG, Mitglied des Vorstandes; Frankfurt am Main

Für eine **Neuwahl** stellen sich auf:

- Kazushige **Nobutani**, Japan External Trade Organization (JETRO), President; Tokyo
- Masakazu **Tachikawa**, Japanische Industrie- und Handelskammer (JIHK), Hauptgeschäftsführer; Düsseldorf
- Hiroki **Wiesheu**, Metzler Asset Management (Japan) Ltd., President and CEO; Tokyo

Für das Amt der **Kassenprüfung** stellt sich auf:

- Sandra **Feinen**, PwC Düsseldorf, Japan Corporate Tax; Düsseldorf

Alle Kandidat:innen erklärten schriftlich vorab, dass sie ihre Wahl im Falle einer positiven Abstimmung annehmen werden. Im Folgenden stellen sich die Kandidat:innen vor (alphabetische Reihenfolge).

これからの日独産業協会 (DJW) 理事会のメンバーとして、以下の方々を候補としてお迎えしております。

前年に引続いての候補者:

- Prof. Dr. モーリッツ・ベルツ
フランクフルト大学「日本法とその文化基盤」講座教授(フランクフルト)
- Dr. ユルゲン・グロスマン
ゲオルグスマリーエンヒュッテホールディング有限公司オーナー(ハンブルク)
- **國部 毅**
株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長(東京)
- ヴィルヘルム・メームケン
エコスコンサルタント有限公司代表取締役(オスナブリュック)
- **中根 猛**
前・在ドイツ連邦共和国特命全権大使、外務省科学技術協力担当大使、ベルリン日独センター(JDZB)総裁、全国日独協会連合会(VJDG)会長代行(東京)
- マンフレッド・シュターン
元YASKAWA Europe GmbH 代表取締役(エシュボレン)
- Prof. Dr. フランツ・ヴァルデンベルガー
ドイツ日本研究所(DIJ)所長(東京)
- **ゲアハルト・ヴィースホイ**
DJW 理事長、B.メッツラー・ゼール・ゾーン & Co. AG 代表取締役(フランクフルト)

今回初候補者:

- **信谷 和重**
ジェットロ副理事長(東京)
- **立川 雅和**
デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長(デュッセルドルフ)
- **ヴィースホイ 弘貴**
メッツラー・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長(東京)

会計・出納監査候補者:

- **サンドラ・ファイネン**
PwC デュッセルドルフ Japan Corporate Tax(デュッセルドルフ)

全ての候補者からは、投票の結果として賛成多数の場合には選出を受理する旨、事前の書面にてご承認を頂いております。

以下に候補者の方々の情報を掲示させていただきます。(アルファベット順)

(1) WIEDERWAHL | 再選候補者

PROF. DR. MORITZ BÄLZ | PROF. DR. モーリッツ・ベルツ

UNIVERSITÄT FRANKFURT, PROFESSOR FÜR JAPANISCHES RECHT UND SEINE KULTURELLEN GRUNDLAGEN; FRANKFURT AM MAIN

フランクフルト大学「日本法とその文化基盤」講座教授(フランクフルト)



Liebe DJW-Mitglieder,

seit 2016 gehöre ich dem Vorstand des DJW an. Es ist beeindruckend, wie sich der Verein in den letzten Jahren entwickelt hat, und ich empfinde es als Ehre, hieran mitwirken zu dürfen. Gerne kandidiere ich daher für eine weitere Amtszeit.

Als Forscher und Dozent beschäftige ich mich schwerpunktmäßig mit dem japanischen Wirtschaftsrecht aus vergleichender Sicht. Gerne werde ich für den DJW als Brücke in die Wissenschaft und die universitäre Ausbildung fungieren und freue mich darauf, selbst weitere interessante Einblicke in die Praxis der deutsch-japanischen Wirtschaftsbeziehungen zu gewinnen.

DJW 会員の皆様、

私は 2016 年より DJW の理事メンバーを務めております。DJW のここ数年の成長と発展は印象深いものであり、理事メンバーとしてその発展に関わることができるのを大変光栄に思っております。そのため、更なる発展に寄与すべく、再び理事メンバーとして立候補させていただきたく存じます。

研究者として、また、講師として、私は日本の経済関連法に関するテーマに比較という観点から重点を置き研究を行っております。DJW の理事メンバーとして学術と大学教育への橋渡しとしての役割を果たし、さらに私自身も日独経済関係の実勢について興味深い知見を得ることができることを楽しみにしております。

TAKESHI KUNIBE | 國部 毅

**SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GROUP, INC., CHAIRMAN OF THE BOARD; TOKYO
株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長(東京)**



Liebe Mitglieder des DJW,

ich freue mich, seit 2019 Mitglied im Vorstand des DJW zu sein. Die Welt ist von der beispiellosen Krise einer Pandemie betroffen, aber gerade in schwierigen Zeiten ist der internationale Austausch wichtig und die Bedeutung der DJW-Aktivitäten hat noch weiter zugenommen. Es herrschen herausfordernde Zeiten, und wir freuen uns darauf, unser Wissen mit Ihnen zu teilen und DJW-Aktivitäten zu schaffen, die mit der Zeit gehen. Als Vorsitzender eines in Europa und Deutschland tätigen Finanzkonzerns werde ich mich weiterhin nach Kräften bemühen, mit dem DJW zur Entwicklung der Wirtschaftsbeziehungen zwischen unseren beiden Ländern beizutragen.

Ich freue mich darauf, meine Arbeit als Mitglied des Vorstandes fortzusetzen, und bitte Sie, mich weiterhin zu begleiten und zu unterstützen.

日独産業協会(DJW)会員の皆様

2019年よりDJWの理事を務めさせて頂いております。世界はパンデミックという未曾有の危機に見舞われましたが、困難な時期こそ国際交流が極めて重要であり、DJWの活動意義も更に増していると思います。チャレンジングな環境ではありますが、皆様と知恵を出し合い時代に合ったDJWの活動を創りあげていくことを楽しみにしております。今後も欧州・ドイツで事業を展開している金融グループの会長の立場から、DJWを通じて両国経済関係の発展に貢献できるよう尽力して参る所存です。引き続き理事としての取組を継続致したく、どうぞご指導・ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

WILHELM MEEMKEN | ヴィルヘルム・メームケン

ECOS CONSULT GMBH, GESCHÄFTSFÜHRER; OSNABRÜCK
エコスコンサルタント有限会社代表取締役(オスナブリュック)



Liebe DJW Mitglieder,

Seit nunmehr über 30 Jahren unterstütze ich als ECOS Gründungsgesellschafter und Geschäftsführer den Aufbau deutsch-japanischer Wirtschaftskooperationen. Seit 2007 habe ich die Ehre, dem Vorstand des DJW anzugehören und mich in die Arbeit des DJW einbringen zu können. Durch meine Funktion als ECOS-Geschäftsführer ergeben sich hier interessante Synergien und es macht mir Freude, unser Netzwerk auch immer wieder für den DJW nutzen zu können.

Ich bin der festen Überzeugung, dass gerade heute angesichts der großen globalen Herausforderungen wie Klimawandel und geopolitische Krisen eine enge deutsch-japanische Zusammenarbeit von großer Bedeutung ist.

Aus diesem Grunde stehe ich gerne dem DJW weiterhin als Vorstandsmitglied zur Verfügung und würde mich sehr freuen, wenn Sie mir Ihr Vertrauen für eine weitere Amtszeit geben.

DJW 会員の皆様、

私はこれまで 30 年以上にわたり ECOS の創業パートナー及び代表取締役社長として日独経済・ビジネスにおける協力関係構築と発展を支援してきました。2007 年以来、DJW の理事メンバーに加わることができたこと、また、DJW の活動に参加し関わることができたことを光栄に思っております。また、ECOS の代表取締役としての役割を通じ、ここで興味深いシナジーが生まれ、DJW のために私たちのネットワークを幾度となく活用することができることを嬉しく思っております。

今日、特に気候変動や地政学的危機といった大きなグローバルな課題を考えると、日独の緊密な協力関係は非常に重要であると私自身確信しております。

この理由から、引き続き理事メンバーとして引き続き DJW に貢献したいと考えております。もう一期、皆様からの信頼を頂ければ大変嬉しく存じます。

TAKESHI NAKANE | 中根 猛

BOTSCHAFTER A. D.; AUßENMINISTERIUM VON JAPAN, BOTSCHAFTER FÜR SCIENCE AND TECHNOLOGY COOPERATION; JAPANISCH-DEUTSCHES ZENTRUM BERLIN (JDZB), PRÄSIDENT; VERBAND JAPANISCH-DEUTSCHER GESELLSCHAFTEN (VJDG), VIZEPRÄSIDENT; TOKYO

前・在ドイツ連邦共和国特命全権大使、外務省科学技術協力担当大使、ベルリン日独センター(JDZB)総裁、全国日独協会連合会(VJDG)会長代行(東京)



Liebe DJW-Mitglieder,

seit ich vor sechs Jahren mein Diplomatenleben beendet habe, setze ich mich als Präsident des JDZB sowie Vize-Präsident der Japanisch-Deutschen Gesellschaft weiter für die Vertiefung der japanisch-deutschen Beziehung ein. Auch ist es für mich eine große Freude, seit drei Jahren als DJW-Vorstandsmitglied mit Ihnen zusammenzuarbeiten, auch wenn es in den letzten zwei Jahren wegen der COVID-19-Situation schwer war, an den verschiedenen Veranstaltungen real teilzunehmen. Ich freue mich darauf,

dass sich die Situation bald verbessert und wir uns wiedersehen können.

Ich würde mich sehr freuen, wenn ich als DJW-Vorstandsmitglied wiedergewählt würde und für die weitere Verstärkung der japanisch-deutschen Wirtschaftsbeziehungen mit Ihnen zusammenwirken dürfte.

DJW会員の皆様、

6年前に外交官としてのキャリアを終えて以来、私はベルリン日独センター(JDZB)総裁として、また、日独協会副理事長として日独関係深化のための活動を続けております。この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントへの実質的な関与・参加が難しい状態ではありましたが、この3年間DJWの理事メンバーとして皆様と共に活動することができたのは、私にとっても大きな喜びでした。早々に状況が好転し、また皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

DJWの理事メンバーに再選され、日独経済・ビジネス関係の更なる強化のために皆様と共に活動を進めることができれば、私もとても嬉しく存じます。

MANFRED STERN | マンフレッド・シュターン

EHEM. YASKAWA EUROPE GMBH, MANAGING DIRECTOR; ESCHBORN

元 YASKAWA EUROPE GMBH 代表取締役(エシュボルン)



Liebe DJW-Mitglieder,

seit 2013 bin ich im Vorstand des DJW tätig. Meine persönliche Motivation wird getragen von der Überzeugung, dass eine engere Zusammenarbeit zwischen Deutschland und Europa auf der einen und Japan auf der anderen Seite auf wirtschaftlicher und politischer Ebene immer größere Bedeutung erlangt.

In meiner bisherigen Rolle als Chairman der YASKAWA Europe und als Mitglied des Boards im YASKAWA Electric Headquarter in Japan habe ich vielfältige Erfahrungen gesammelt, die ich nach meiner langjährigen aktiven Phase bei YASKAWA nun als freier Berater weitergeben möchte.

Meine engagierte Mitarbeit im Vorstand des DJW kann ich Ihnen im Falle meiner Wahl auch für die kommenden Amtszeit zusichern. Gerne würde ich - gemeinsam mit Ihnen - dazu beitragen, die Strahlkraft und die Organisationsbasis des DJW weiter auszubauen.

Über das Vertrauen, welches Sie durch meine Wiederwahl zum Ausdruck bringen können, würde ich mich sehr freuen.

Ihr
Manfred Stern

DJW 会員の皆様、

私は 2013 年より DJW の理事メンバーを務めておりますが、この個人的な動機としましては、ドイツとヨーロッパ、そして日本がより緊密に連携することが、経済的・政治的にますます重要になってきているという確信からです。

私はこれまで長年にわたり、YASKAWA Europe の代表取締役、また、日本の安川電機本社の取締役役員として様々な経験を積んできました。そしてこの経験をもとに、現在はフリーランスでコンサルタントとして活動を行っていきたくと考えております。

当選した暁には、DJW 理事メンバーとして、来期もさらに活動を続けることをお約束いたします。また、DJW の持つ力と組織基盤をさらに強化・拡張するために、是非皆様と一緒に貢献していくことができれば幸いです。

皆様からの信頼を得て再選することができれば、大変嬉しく存じます。

PROF. DR. FRANZ WALDENBERGER | PROF. DR. フランツ・ヴァルデンベルガー**DEUTSCHES INSTITUT FÜR JAPANSTUDIEN (DIJ), DIREKTOR; TOKYO****ドイツ日本研究所(DIJ)所長(東京)**

Liebe DJW-Mitglieder,

noch während meiner Zeit in München, wo ich seit Ende 1997 die Professur für japanische Wirtschaft innehatte, arbeitete ich eng mit dem DJW zusammen. Als dieser sich dann 2001 als Verein neu gründete, lud mich der damalige Vorsitzende, Dr. Ruprecht Vondran, in den Vorstand ein, dem ich seitdem angehöre. Aufgrund meines Wechsels nach Tokyo im Oktober 2014 und der Übernahme der Leitung des Deutschen Instituts für Japanstudien war ich seitdem auf Veranstaltungen in Deutschland weniger präsent. Umso mehr hat es mich gefreut, dass der DJW 2019 sich selbst den schon länger gehegten Wunsch nach Gründung eines Repräsentanzbüros in Japan erfüllte. Ich stehe mit den japanischen

Vorstandskollegen in engem Kontakt und hoffe, dass wir bald auch wieder Veranstaltungen in Person durchführen können.

Ich sehe meine Aufgabe im Vorstand insbesondere als Vermittler zwischen Wissenschaft und Wirtschaft. Es gibt viele Themenfelder, sei es Demografie, digitale Transformation oder die Zukunft der Arbeit, wo der Austausch zwischen Japan und Deutschland gerade auch von der Verbindung von Wissenschaft und Praxis profitieren kann. Ich möchte mich hier auch weiter einbringen, sei es bei der Organisation von Veranstaltungen, durch Vorträge oder durch Textbeiträge. Es würde mich sehr freuen, wenn Sie mir auch weiter Ihr Vertrauen schenken!

DJW 会員の皆様、

私は 1997 年末から日本経済学の教授を務めていたミュンヘン時代の間も、DJW と密接な協働関係にありました。DJW が 2001 年に非営利公益団体として登録された際、当時会長であったルプレヒト・フォン・ドラン氏のお誘いを受けて以来、ずっと DJW 理事メンバーとして当協会での活動を行っております。2014 年 10 月に東京に移住し、ドイツ日本研究所所長に就任したため、それ以降ドイツでのイベントへの参加が難しい状態ではありましたが、2019 年に DJW 念願の日本駐在事務所が設立された際には、私自身より一層嬉しく思ったものでございます。日本の理事メンバーの皆様と緊密に連絡を取り合っておりますが、また対面式によるイベントを開催することができればと願っております。

DJW 理事メンバーとしての私の役割は、特に学術と経済・ビジネスの仲介にあると考えております。事項統計学、デジタル・トランスフォーメーション、労働の未来など、日独間交流が学術と実践の結びつきによって恩恵を受けることができるテーマは数多くあります。今後もイベントの企画、講演、テキストの寄稿などによって活動を続けていくことができればと思っております。今後も皆様からのご信頼を頂ければ大変嬉しく存じます。

GERHARD WIESHEU | ゲアハルト・ヴィースホイ

DJW, VORSTANDSVORSITZENDER; B. METZLER SEEL. SOHN & CO. AG, MITGLIED DES VORSTANDES; FRANKFURT AM MAIN

DJW 理事長、B.メッツラー・ゼール・ゾーン & CO. AG 代表取締役 (フランクフルト)



Liebe DJW-Mitglieder,

mit vielen von Ihnen stehe ich in einem regen Austausch, wir teilen Ideen zur Gestaltung unseres gemeinsamen Weges, wir diskutieren Fragestellungen zur Zukunft unserer Länder, deren Freundschaft uns am Herzen liegt: Japan und Deutschland.

Als DJW greifen wir seit jeher Themen auf, die beide Länder bewegen, öffnen Plattformen für den gleichberechtigten Austausch und spannen ein tragfähiges Netz für alle Akteur:innen. Die Pandemie hat gezeigt – und bestätigt –, dass wir mit unserem Verein auf dem richtigen Weg sind: mit Flexibilität, Ideenreichtum und Zusammenhalt wurden digitale Plattformen geschaffen, mobiles Arbeiten ermöglicht und Online-Präsenz auch als Chance begriffen.

Ich sehe meine Aufgabe als Vorstandsvorsitzender darin, belastbare Kontakte in Wirtschaft und Politik zu etablieren, hier für uns Türen zu öffnen, Themen zu eruieren und so die japanisch-deutsche Zusammenarbeit aktiv zu prägen. Ich möchte mich dafür einsetzen, unseren DJW auch weiterhin in Deutschland und Japan bekannter zu machen und so dem ausgesprochenen Ziel, eine ausbalancierte Mitgliedschaft in beiden Ländern zu erreichen, ein weiteres Stück näher zu kommen.

Gerne stelle ich mich für das Amt des Vorstandsvorsitzenden zur Wahl auf und würde mich freuen, gemeinsam mit Ihnen, liebe Mitglieder, unseren Wirtschaftskreis weiter gestalten zu dürfen.

DJW 会員の皆様、

私はこれまで多くの皆様と活発な交流を行ってきました。その中で皆様と共通の道を切り開くためのアイデアを共有し合い、そして日本とドイツという友情に満ち溢れた私たちの国の未来に関する課題や関連テーマに関する議論を行っています。

DJW として私たちは常に両国を動かすテーマを取り上げ、対等な交流の場を設け、そして日独関係に関わる全ての方々のための持続可能なネットワークを作り上げてきました。柔軟性、豊かな創造力、結束力をもってデジタル・プラットフォームを構築し、場所を選ばない自由な活動を可能にし、またオンライン・プレゼンスをチャンスと捉えてきました。

私の理事長としての役割は、経済や政治における持続可能なつながりを確立し、ここに私たちのための扉を開き、テーマを追求し、それによって日独の協力関係を積極的に形成することにあると考えております。今後日本とドイツ両国での DJW の認知度をさらに高め、両国で均衡のとれたネットワークを実現するという目標により一層近づけるよう努力していきたく存じます。

以上から再び理事長に立候補し、親愛なる会員の皆様と共に当協会を引き続き作り上げていくことができれば大変嬉しく存じます。

(2) NEUWAHL | 今回初候補者

KAZUSHIGE NOBUTANI | 信谷 和重

JAPAN EXTERNAL TRADE ORGANIZATION (JETRO), PRESIDENT; TOKYO

ジェトロ副理事長(東京)



Sehr geehrte, liebe DJW-Mitglieder,

mit dem Ziel der Kohlenstoffneutralität bis 2050 und der Förderung der Digitalisierung auf der globalen Agenda engagiert sich JETRO für die Stärkung der deutsch-japanischen Zusammenarbeit. Unsere drei Büros in Düsseldorf, Berlin und, ab 2020, München wirken hier besonders im Bereich der Innovationen. Im vergangenen Jahr haben wir mit Unterstützung des DJW anlässlich des 160-jährigen Jubiläums der deutsch-japanischen Freundschaft die „German Japanese Innovation Initiative 160“ für die Förderung der Zusammenarbeit ins Leben gerufen.

Japan und Deutschland teilen viele grundlegende Werte wie Freiheit, Fairness, eine stabile Gesellschaft, Privatsphäre, Respekt vor harter Arbeit und Präzision sowie die Liebe zu einer schönen Umwelt. Der Welt die Technologie zur Verfügung zu stellen, um diese Werte in der Gesellschaft zu verankern, ist eine globale und historische Rolle, die von Japan und Deutschland erwartet wird, und der Wert der Zusammenarbeit zwischen den beiden Ländern ist sehr groß. JETRO wird diese Initiativen weiter fördern und gleichzeitig die Zusammenarbeit mit dem DJW vertiefen.

2050年におけるカーボンニュートラルの達成やデジタル化の促進がグローバルな課題となる中、ジェトロでは、デュッセルドルフ、ベルリン、そして2020年に開設したミュンヘンの3事務所を通じて、イノベーションに向けた日独間の連携促進に尽力しています。昨年は、DJWの支援も頂きながら、連携促進に向けた枠組みとして、日独修好160周年を機に、日独イノベーション・イニシアティブ160を立ち上げました。日本とドイツは、自由、公平、安定した社会、プライバシー、勤勉さや正確さへの敬意、美しい環境を愛する心といった基本的価値観の多くを共有しています。このような価値観を社会に定着させるための技術を世界に提供していくことは、日本とドイツに期待された世界的・歴史的な役割であり、両国が協力する価値はとて大きいと思います。ジェトロでは、DJWとの連携をさらに深めつつ、こうした取り組みを進めてまいります。

MASAKAZU TACHIKAWA | 立川 雅和

JAPANISCHE INDUSTRIE- UND HANDELSKAMMER (JIHK), HAUPTGESCHÄFTSFÜHRER;
DÜSSELDORF

デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長(デュッセルドルフ)



Liebe DJW-Mitglieder,

nach mehr als 35-jähriger Karriere bei der JETRO habe ich Anfang dieses Jahres den Dienst als Hauptgeschäftsführer der Japanischen Industrie- und Handelskammer zu Düsseldorf angetreten. Als ich bei der JETRO Düsseldorf tätig war (2001-2003), habe ich mit eng mit dem DJW zusammengearbeitet und gemeinsam verschiedene Veranstaltungen organisiert. Auch während meiner Tätigkeit als Direktor des Japanischen Kulturinstituts in Köln (2015-2019), hatte ich Gelegenheit, mit dem DJW zu kooperieren. Ich bin von der Wichtigkeit der Aktivitäten des DJW für die japanisch-deutschen Wirtschaftsbeziehungen fest überzeugt.

Dass ich nun die Gelegenheit habe, von meiner Position als Vertreter des größten japanischen Unternehmensverbandes in Deutschland heraus die Aktivitäten des DJW zu unterstützen, macht mich sehr froh. Ich bin mir sicher, dass meine Position und meine Erfahrung dem DJW zugutekommen, und würde mich sehr freuen, wenn Sie meine Kandidatur positiv bescheiden.

日独産業協会(DJW)会員の皆様

昨年末に30数年にわたるジェトロでの勤務を終え、今年年明けからデュッセルドルフ日本商工会議所の事務総長を務めております。ジェトロ・デュッセルドルフ勤務の際(2001~2003年)にはDJWとは密接な協力関係にあり、様々な事業を共同で実施しました。ケルン日本文化会館館長としての勤務の際(2015~2019年)にもDJWと一緒に仕事をする機会があり、DJWの活動の日独経済関係における重要性は深く認識しております。

このたび、ドイツ最大の日系企業代表機関の立場から、DJWの活動に貢献する機会を得ることができ、大変幸甚に存じます。私の立場や経験をもってDJWのお役に立てるであろうと確信しておりますので、私の立候補をぜひ積極的にご支持いただければ幸いです。

HIROKI WIESHEU | ヴィースホイ 弘貴

**METZLER ASSET MANAGEMENT JAPAN LTD., PRESIDENT AND CHIEF EXECUTIVE OFFICER;
TOKYO**

メッツラー・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長(東京)



Liebe DJW-Mitglieder,

ich hoffe, dass Sie und Ihre Familien in diesen turbulenten Zeiten sicher und gesund sind. Mein Name ist Hiroki Wiesheu, ich arbeite für das Bankhaus Metzler und bin als Präsident und CEO von Metzler Asset Management Japan für das Japan-Geschäft innerhalb der Metzler-Gruppe verantwortlich.

Da mein Vater Deutscher und meine Mutter Japanerin ist, habe ich sowohl in Deutschland als auch in Japan gelebt, studiert und gearbeitet, und ich betrachte beide Länder als meine Heimatländer. Meiner Meinung nach gibt es viele gemeinsame Interessen und Herausforderungen, vor denen beide Länder stehen, wie z. B. der Umgang mit dem zunehmenden Ost-West-Konflikt, der Weg zur Klimaneutralität, die Liberalisierung des Arbeitsmarktes, um nur einige Beispiele zu nennen. Dies bedeutet, dass beide Länder voneinander lernen und die gemeinsamen Herausforderungen durch Informationsaustausch und Zusammenarbeit gemeinsam angehen können.

Gerade in unsicheren Zeiten wie diesen sind die wirtschaftlichen, politischen und sozialen Beziehungen zwischen den beiden liberal-demokratischen Ländern Deutschland und Japan von größter Bedeutung. Es wäre mir eine Ehre, wenn ich als DJW-Vorstandsmitglied aktiv zum Aufbau dieser Beziehungen beitragen könnte.

DJW会員の皆様、

まずは、この激動の時代に、皆様と皆様のご家族が無事にお過ごしであることをお祈り申し上げます。メッツラー・アセット・マネジメント・ジャパンの代表取締役社長兼CEOとして、メッツラーグループの日本事業を統括しております、ヴィースホイ弘貴と申します。

私は父がドイツ人、母が日本人ということもあり、ドイツと日本両国に住み、大学を卒業し、そして就職・勤務してきましたので、どちらの国も私の母国であると思っております。東西対立激化と気候変動への対応、労働市場の自由化など、両国には共通の関心と課題が多く存在すると言えます。つまり、両国間で行われる情報交換や協力を通じ、互いに学び合い、両国が抱える課題に共に取り組むことができるのです。

特に現在のように様々なことが不確かな時代に、自由民主主義国家であるドイツと日本の間の経済的、政治的、そして社会的関係強化は最も重要なものです。DJWの理事メンバーとして、これら関係構築に積極的に貢献できれば光栄に存じます。

(3) AMT DER KASSENPRÜFUNG | 会計・出納監査候補者

SANDRA FEINEN | サンドラ・ファイネン

PWC DÜSSELDORF, JAPAN CORPORATE TAX; DÜSSELDORF

PWC デュッセルドルフ JAPAN CORPORATE TAX (デュッセルドルフ)



- Seit 2015 bei PwC Düsseldorf
- 5 Jahre Erfahrung in der Wirtschaftsprüfung
- Seit 2019 Steuerberaterin
- Seit 2020 Teil des Japan Corporate Tax Team in Düsseldorf

- 2015 年より PwC デュッセルドルフにて勤務。
- 5 年の監査経験あり。
- 2019 年より税理士。
- 2020 年より PwC デュッセルドルフ Japan Corporate Tax チームの一として勤務。